

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 745 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

6

2018

平成30年  
6月10日発行

## INDEX

理事長就任あいさつ	3
理事長退任あいさつ	4
平成30年度通常総会	5・6
新役員決まる	7
「平成30年度第1回経営者研修会」案内	8
「マーチングアカデミー塾」案内	9
平成30年春の叙勲受章者	10
業界のうごき	10

《表紙》北海道の落差のある滝 No.3 銀河の滝 (104m) [6月：上川郡上川町]

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD  
FONT  
by MORISAWA

280  
古紙パルプ配合率30%再生紙を使用

VEGETABLE  
OIL INK

GREEN PRINTING INK  
P-00129  
ZINCHROMIUM 30% 環境にやさしい  
印刷インク

CSR

この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

P-00023



北海道印刷工業組合  
理事長

岸 昌 洋

この度、第22代の理事長を拝命いたしました岸と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします  
ます。

板倉前理事長よりお話をいただいた際、私のような若輩が歴史ある北海道印刷工業組合  
の理事長という大役が務まるのかと悩みました。

振り返ってみると私は、青年部から組合活動に参画させていただき各委員会、そして副理事  
長を拝命し今日に至りました。この組合での活動を通じて、様々なことを学び、そしてたくさん  
の方々と知り合い、親交を深めて参りました。この学びと人脈こそが、社長としての今の私と  
会社を形成していると考えています。組合を通じて学んだ様々なことは、どこへ行っても知り得  
ないことばかりでしたし、それを活用し実践しなければ自社を変革することは不可能でした。  
そして北海道内はもとより、日本全国の方々から学びの機会をいただいたことは生涯の財産で  
あります。これらのことを鑑みた時に私自身が組合に対して出来ることを考え、お引き受け  
いたすこととなりました。

組合の役割は、組合員皆様の持つ経営資源を最大化するためのお手伝いをする事だと  
考えております。経営資源とは、「ヒト・モノ・カネ」であり、人材を育成するための各種研修、  
資格・認定制度や共済制度、設備共済やHOPE展などを通じ、関連業の皆様と連携しながら  
最先端のシステムや設備、最新事例のご紹介、見える化の推進等による利益向上のお手伝い  
などの情報を組合としてご提供して参ります。

組合は実に様々な事業を運営しております。しかし、この取り組みを知っていただかない  
限り皆さんにこれが組合の「メリット」だとお気付きいただくことは難しく、活用もしていただ  
けないでしょう。私に出来ることは、この様々な「メリット」を少しでも多くの皆さんにお伝えをし、  
ご享受いただくことだと考えております。

私一人で出来ることは限られますが、執行部、事務局と共に少しでも組合員の皆様、賛助  
会員や関連業の方々のお役に立てるよう努めて参る所存です。

組合設立78年の歴史に恥じぬよう緊張感をもって職務にあたりますので、皆様方のご指導  
とご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



北海道印刷工業組合  
前理事長  
**板倉 清**

過日、開催されました平成30年度通常総会をもちまして、2期4年にわたる理事長の大任を無事大過なく全うし退任しました。

これも偏に副理事長をはじめとします役員はもとより組合員ならびに関連業界の皆さまのご協力とご支援があつてこそそのものと衷心より深く感謝申し上げます。

この4年間、北海道印刷業界を取り巻く環境は、巷間、伝えられているような景気回復は全く感じられない状況が続いており、以前にも増して厳しい状況にありました。

思い起こすと、平成16年に理事に選任されて以来、平成22年から副理事長として要請を受け、岡部前理事長の薫陶の下に10年間、平成26年から理事長として4年間、通算14年にわたり業界活動に携わってきたことになります。

この14年間は、多くの人との出会いがあり、数々の行事に参加することができ、私の人生にとりまして大変有意義で貴重なものとなりました。

このような機会を与えていただいたことに感謝します。

私は、理事長就任時に、①組合員の事業への積極参加、②組合組織率の向上、③新しいことへのチャレンジの3つを活動の目標に立てさせていただきました。

今、それを検証してみますと、

1つ目の組合員の事業への積極参加は、組合では組合員のために役立つ事業を多く行っており、事業参加への周知活動を行いました。組合員各位へ細部にわたる伝達が行き渡っていません。理解を得られない状況を十分に克服することができませんでした。

2つ目の組合組織率の向上は、加入活動を行い、組合の存在意義を訴え続けてきましたが、4年間で62社が減少してしまい、誠に残念であります。

3つ目の新しいことへのチャレンジは、賛助会員制度の創設、北海道情報・印刷文化典と北海道情報・印刷産業展の融合、学びと情報発信の場としてHOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) のスタートなど、道半ばではありますが活動して参りました。

結果としては、いずれも満足の行くものとはならず、私の力不足によるところが大きく、本当に無念でなりません。

社会・経済構造がIoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあるなかで、さらに働き方改革が提唱され、受注型から脱却し切れていない印刷産業では、人材（財）の確保・育成、新しい工夫などが必要になり、難しい局面にあります。

このような大事な時期に、新進気鋭のスピード感ある行動力に溢れ、知能集団である岸新執行部へ組合運営を引き継ぐことができましたのは、今後の活動に期待申し上げ、北海道印刷工業組合をはじめ業界にとっての宝となるものと信じて止みません。

今後も、印刷業界発展のため微力を尽くす所存でありますのでよろしくごお願い申し上げます。

理事長退任にあたりお礼と感謝を申し上げ、ごあいさつとします。

# 平成30年度事業計画・収支予算を決定

## 平成30年度通常総会

平成30年度通常総会が、5月18日午後2時30分から札幌市中央区のガーデンシティ札幌駅前前で全道から組合員82人（代理出席を含む）が出席して開催され、平成29年度事業報告、同収支決算を承認し、平成30年度事業計画・同収支予算などを決定した。

**総** 会の議事に先立ち、昨年の総会以降に亡くなられた組合員、鈴木敏廣氏（旭川支部）、星 祐一氏（オホーツク支部）、西口 徹氏（十勝支部）の3人のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

つづいて、板倉理事長が、組合員、来賓に参加のお礼を述べたあと、「新聞等のニュースで知っていると思うが、世界が大変なことになっている。わが国にも影響を及ぼす米朝問題である。会談の日程が決まっているようだが、綱引き、駆け引きが始まっている。わが国の平和はどうなるのか心配である。中東においては米国の行動に反発する国がでてきている。これは経済に影響を及ぼすことが懸念される。国内においては政府の考え方が進んでいて首都圏を中心に大企業が業績を上げている結果がでてきている。ただ残念なことは地方において、また私たち中小企業、特に印刷業において札幌を中心とした北海道はまだ景気の安定がしない。そのようななかで昨年、皆さんに承認いただいた事業を我々は1年間推進してきた。その成果と新しい年に向けた事業案を審議願いたいと思っている」とあいさつを述べた。



岡出直人 氏

次に、来賓紹介が行われ、岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、新津健次北海道経済部産業振興局産業振興課長、玉田彰北海道中小企業団体中央会企画情報部長の3人から祝辞が述べられた。

岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「日本経済は、経済政策の効果が表れ、好循環が回り始めている。しかしながら地方においては、業種や企業の規模により厳しい状況が続いている。とりわけ中小企業においては、人手不足、生産性の面で大企業との格差が広がるなど構造的な課題を抱えたままになっている。印刷業界は活字離れ、電子書籍、インターネット等の普及により紙需要の減少という業界独自の要因も重なって厳しい状況が続いている。しかしながらこういうときだからこそ、これまで培ってきた経営ノウハウやリソース、昨今AI、IoTといった技術革新の目覚ましい第4次産業革命関連の技術などを活用いただき、川下の分野に関わるソリューションサポートの提供、印刷物のデザイン、画像処理、マルチメディアといった新しい分野へ挑戦する絶好の好機だと思う。政府では生産性革命を掲げ、人、物、機械そしてそれをデータで結び、高い付加価値に繋げていく産業

社会、コネクテッドインダストリーズを推進している。29年度補正予算、30年度予算で、税制改正で大胆な措置を取っている。北海道経済産業局としては補助金、税制を地域の中小企業の皆さんに活用いただくため情報発信に努めるとともに職員が地域に赴く、現場主義を徹底して強い北海道経済の実現に向けて取り組んでいく。これまでも新商品・新技術の開発に取り組まれてきたことと思うが、引き続き、私どもの施策なども活用いただき企業の稼ぐ力を高めて、強い北海道経済の実現に向けて貢献いただきたい」と述べた。



新津健次 氏

新津健次北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本道経済は来道外国人の増加により観光が好調のほか、生産活動は概ね横ばい、企業倒産は減少傾向にあるなど、立ち直っている一方、有効求人倍率は97ヵ月と8年以上にわたり前年を上回る推移をしており、幅広い業種で人手不足感が強まっている。こうしたなか道では本道経済の回復基調をより確かなものにするため付加価値の高い商品づくりや生産性の向上、円滑な事業承継等を支援している他、若い世代にもものづくりの魅力や仕事のやりがいを伝えることで製造業への理解促進や人材育成を行っている。近年、印刷業界はデジタル化の進展などによって既存の需要が縮小するなか地域の需要を創造するための新しい視点・発想による経営が求められている環境にある。北海道印刷工業組合の組合員の皆さんにおかれては、エキスパート人材や後継者の育成にも尽力されるとともに従来の印刷物製造だけの業界に留まることなく、情報加工やコンテンツビジネスの展開などにも積極的に取り組まれている。組合員の皆さんには地域経済と道民生活の向上これまで同様一層貢献いただくよう期待申し上げる。本年は本道が北海道と命名されてから150年という節目の年に当たる。道では先人から受け継いできたふるさと北海道を次の世代へ引き継いでいくため産業の活性化や将来を担う人材の育成などに取り組んでいく」と述べた。



玉田 彰 氏

玉田 彰北海道中小企業団体中央会企画情報部長は、「先月の日銀短観を見ると大企業・製造業においても景況館が悪化している。先日の内閣府のGDPの発表によると年率0.6%減になっているということで大

企業においても決して好調ではない部分もあると思う。本会が独自に行っている情報連絡員という、全道93の地域・業種の方々に景気のDI値をウォッチしていただき集計しているものがある。それを見ても決して右肩上がりのトレンドにはなっていない。中小企業には依然厳しい景況が続いており、先行き不透明がぬぐえない状況が続いている。中央会としては中小企業組合のみならず中小企業の経営に対する支援として働き方改革の支援、消費税率の引き上げが予定されているその対策、私どもが地域事務局を担っているものづくり補助金等がある。本会としても道内を取り巻く諸情勢を認識し、皆さんに役に立てるよう連携をより密にし役職員一丸となって総力を傾注して中小企業および中小企業連携組織のニーズに則した事業展開を図っていく所存である」と述べた。

祝電披露につづき、定数報告が行われ、議長に野津雅之氏（北洋凸版印刷株式会社代表取締役社長・十勝支部）を選出し、議長から議事録署名人に松井丈氏（オホーツク支部）と西山 真氏（札幌支部）の2名を指名し、議事に入った。

第1号議案平成29年度事業報告について、第2号議案平成29年度決算（案）について、監査報告が一括上程され、議案説明のあと、植平監事から会計処理・内容は適切である旨の監査報告が行われ、審議の結果いずれも原案どおり承認された。

平成29年度決算額は、収入総額26,859,918円、純損失金額が493,820円となり、平成29年度末の正味資産は13,570,306円となった。

剰余金処分案は、前期繰越剰余金9,025,126円から当期損失金額493,820円を填補して、8,531,306円を次期繰越剰余金とすることとした。

また、本部・支部合算の貸借対照表・損益計算書について承認した。

第3号議案平成30年度事業計画（案）について、第4号議案平成30年度組合員の賦課金額及び徴収方法の決定（案）について、第6号議案理事の報酬（案）についてが一括上程され、審議の結果、いずれも原案どおり承認された。

平成30年度事業計画は、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、「印刷の月」行事の取組、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、組合創立80周年記念誌編纂の準備を柱とした事業を実施していくこととした。

平成30年度収支予算については、平成29年度決算額を5,759,918円減額した21,100,000円を計上した。

平成30年度組合員の賦課金額及び徴収方法は、売上自主申告の20ランク制として、当月分賦課金を当月末までに所属支部の指定口座に払い込むものとした。

理事の報酬は、専務理事報酬限度額を原案どおり決定した。



第7号議案平成30年度借入金の最高限度額（案）については、運転資金として500万円と決定した。

第8号議案支部規約の一部改正（案）については、第2条（名称および地区）で、函館支部を廃止し、同地区所属の事業者が本部直轄組合員として加入できるよう規約の改正を決定した。

第9号議案任期満了による役員の変更については、選考委員による指名推選により役員選挙が行われ、理事15人と監事2人が選出された。（役員の氏名は7頁に掲載）

次に報告事項に移り、平成29脱退組合員（24社）について報告が行われた。

総会を休会し、新理事による理事長選出の理事会が開催され、新理事長に岸 昌洋氏（株式会社正文舎代表取締役・札幌支部）が選出され、総会で発表された。

岸新理事長から「昨年、板倉理事長から新しい理事長にと話をいただいた。私のような若輩が理事長という大役を仰せつかるのはいかがなものかというのが正直な気持ちであった。振り返って見ると、私が正文舎に入ってから青年部を皮切りに各委員長やいろいろな役目をやっており、そこでいろいろと勉強させてもらい、北印工組はじめいろいろな人脈を築かせてもらった。そう考えたときに果たして今、私が社長でいられるということと、正文舎という会社が存続できているのは、組合でそのような勉強をさせてもらった、そして数多くの仲間、先輩にいろいろな教をいただいたことがキーポイントにあると考えた。非常に微力ではあるが、恩返しという大変おこがましいが役にたてればという思いである。総会のなかでもあったが、今、非常に厳しい北海道印刷工業組合の状況、それと各支部の状況は重々承知をしているし、緊張感をもって役目を引き受けなければならないと考える。歴代の理事長の皆さんの活躍を決して汚さないように、そして組合員の皆さんの役に少しでも立てるように精一杯やれることをやっていきたいと思っている」と就任あいさつが述べられた。

以上で、総会の議事をすべて終了し、野津議長が降壇した。

この後、本総会をもって退任した役員8人に岸理事長から感謝状が贈られ、出席した板倉前理事長、井田前副理事長、野津前理事、島津前監事からそれぞれ謝辞と思いが述べられ、平成30年度通常総会を終了した。

# 新役員決まる

## 理事長に岸 昌洋氏が就任

北海道印刷工業組合は、5月18日、平成30年度通常総会を開催し、任期満了による役員の改選を行い、新しく理事15人と監事2人を選出した。

これを受けて、平成30年度第3回理事会を開催し、理事長に岸 昌洋氏（株式会社正文舎・札幌）を選出した。

また、副理事長に大和繁樹氏（株式会社ヒロミ産業・札幌）を再選し、新たに植平有治氏（植平印刷株式会社・旭川）、西山真氏（大輝印刷株式会社・札幌）の2人を選出し、専務理事に伊藤克義氏（専従）を再選した。

さらに、顧問6人と相談役1人を選任した。



岸理事長



大和副理事長



植平副理事長



西山副理事長



伊藤専務理事



矢吹青年部  
事業委員長



岡部経営革新・  
マーケティング  
事業委員長

### 〔役員〕

理事長・札幌支部長	岸 昌 洋 (株正文舎・札幌)
副理事長・労務・環境事業委員長	大 和 繁 樹 (株ヒロミ産業・札幌)
副理事長・組織・共済事業委員長・旭川支部長	植 平 有 治 (植平印刷株・旭川)
副理事長・教育・研修事業委員長	西 山 真 (大輝印刷株・札幌)
専務理事	伊 藤 克 義 (専従)
理 事・青年部事業委員長	矢 吹 英 俊 (株ホクラミ・札幌)
理 事・経営革新・マーケティング事業委員長	岡 部 康 彦 (北陽ビジネスフォーラム株・札幌)
理 事・小樽支部長	米 澤 正 喜 (米沢印刷紙業株・小樽)
理 事・オホーツク支部長	松 井 丈 (株北研社・オホーツク)
理 事・十勝支部長	角 高 紀 (広尾大同印刷株・十勝)
理 事・苫小牧支部長	山 田 新 一 (北光印刷株・苫小牧)
理 事・南空知支部長	阿 曾 沼 秀 匡 (弘文社印刷株・南空知)
理 事	山 田 遵 (株山紀・旭川)
理 事	板 倉 清 (株アイテックサプライ・札幌)
理 事	前 田 憲 之 (株パスカル・プリンティング・札幌)
監 事	細 木 俊 明 (株プリコム旭川・旭川)
監 事	加 藤 憲 一 (有加藤印刷・札幌)

### 〔顧問・相談役〕

顧 問	井 田 多加夫 (株井田印刷工房・札幌)
顧 問	板 倉 清 (株アイテックサプライ・旭川)
顧 問	岡 部 康 彦 (北陽ビジネスフォーラム株・札幌)
顧 問	木野口 功 (株アイワード・札幌)
顧 問	高 木 哲 朗 (稚内印刷株・稚内)
顧 問	西 山 恒 夫 (大輝印刷株・札幌)
相 談 役	吉 田 政 司 (北斗印刷株・小樽)

# 「平成30年度第1回経営者研修会」のご案内

## 「印刷に関する“知的財産権（著作権）”」— 基礎と官公需対応

北海道印刷工業組合は、「平成30年度第1回経営者研修会」を開催する。

**全**日本印刷工業組合連合会と全日本印刷産業政治連盟が予てより要望していた官公需取引における著作権の適切な取り扱いについて、昨年7月25日の閣議で決定された「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」で新たに講ずる主な措置として、「知的財産権の財産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」が加わった。

この措置は、印刷会社の大切な財産である著作権等の知的財産権や中間生成物の所有権の適切な取り

扱いについて、国が一定の指針を示したものといえるが、発注者である官公庁と受注者である印刷業者が、共通理解の上に推進していかなければ実効性を得ないものといえる。

そこで、印刷業者が印刷物を受注する上で最低限知っておかなければならない知的財産権（主に著作権）の基本を習得し、官公需における知的財産権の財産的価値を推進していくとともに日々の営業活動における著作権に関わるトラブルを未然に防ぐ対応を身に付けることなどを目的に研修する。

### 記

1. 日 時 平成30年7月6日(金) 研修会15:00~16:40/情報交流会（懇親会）17:00~18:30
2. 会 場 ガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区北2条西2丁目19番地TKP札幌ビル（アパホテル） 電話011-252-3165）
3. 講 師 全日本印刷工業組合連合会 専務理事 池尻淳一 氏
4. 受 講 料 無料
5. 情報交流会（懇親会費） 5,000円
6. 主 な 内 容 日頃取り扱っている印刷物には著作権をはじめとするさまざまな知的財産権が含まれている。  
知的財産権の基本的な種類を理解しコントロールすることは今や印刷産業において欠くことの出来ない重要なテーマとなっている。  
昨年、官公需において知的財産権に対する新しい基本方針が発表されたなかで、今後、印刷産業界側の的確な対応が一層求められることは間違いない。  
印刷物を受注する上で最低限知っておかなければならない知的財産権（主に著作権）の基本を今一度再確認する。

# 「マーチングアカデミー塾」のご案内

6月20日・札幌、21日・旭川で開催

一般社団法人マーチング委員会は、「マーチングアカデミー塾」を札幌と旭川で開催する。

マーチング委員会は、各地のまちなみイラストという膨大なアートの資源（財産）を核とし、人々のコミュニケーションを育て、さまざまなサービス・商品開発を進め、そのノウハウを全国の会員が共有し高度化する理想的なビジネスモデルを実現している。

とりわけ2020年に向けて立ち上げた絵旅日本「in Japan」（季刊フリーペーパー）は、日本各地の観光、グルメ、特産物、伝統工芸etc.を紹介する地域のコンシェルジュ機能をもった新しいメディアである。

この活動を全国に広めるため、「マーチングアカデミー塾」を、6月20日に札幌、21日に旭川で開催する。



## 〔マーチングアカデミー塾 in 札幌〕

日 時	平成30年6月20日(水) 研修会14:30~17:30/懇親会18:00~20:00
会 場	研修会：リコージャパン株式会社北海道支社会議室（札幌市北区北7条西2丁目8-1 札幌北ビル） 懇親会：開陽亭すすきの本店（札幌市中央区南6条西4丁目 ホワイトビル）
内 容	① 開会挨拶（一社）マーチング委員会理事長 井上雅博氏 ② マーチング委員会理念講習・研修 マーチングアカデミー塾長 利根川英二氏 ③ in Japanについて マーチング委員会理事 瀬田章弘氏 ④ 「YORIP」とマーチング委員会の連携について DNP社 YORIP事業推進部副部長 熊坂浩明氏 ⑤ 会員活動の紹介 津軽ひろさきマーチング委員会代表 漆澤知昭氏
懇親会費	5,000円

## 〔マーチングアカデミー塾 in 旭川〕

日 時	平成30年6月21日(木) 研修会13:30~16:30/懇親会17:00~19:00
会 場	研修会 旭川市民文化会館第三会議室（旭川市7条通9丁目） 懇親会 居酒屋天金（旭川市4条通7丁目）
内 容	札幌と同じ
懇親会費	4,000円

●申込・問い合わせ／一般社団法人マーチング委員会事務局 担当：利根川芳明まで  
TEL03-3811-1364 [E-mail] yoshiaki@tonegawa.co.jp

# 叙勲おめでとうございます

平成30年春の叙勲で、当組合員の西出勝利氏（光文堂）と飯原周二氏（雄武印刷）の2人が栄えある受章をされました。

旭日小綬章

西出勝利氏

株式会社光文堂取締役会長

赤平商工会議所会頭

北空知支部



旭日単光章

飯原周二氏

雄武印刷株式会社代表取締役

元雄武町商工会長

オホーツク支部



## 業 界 の う ご き

### ▶旭川支部長に植平有治氏

旭川支部は、5月11日、平成30年度通常総会を開催し、井田多加夫支部長が任期満了により退任し、新しく支部長に植平有治氏（植平印刷株式会社）を選出し、就任した。

### ▶十勝支部長に角 高紀氏

十勝支部は、5月25日、平成30年度通常総会を開催し、野津雅之支部長が任期満了により退任し、新しく支部長に角 高紀氏（広尾大同印刷株式会社）を選出し、就任した。

### ▶旬誠栄社長に高橋一徳氏

有限会社誠栄（北見市小泉488番地8）は、このたび、高橋一雄社長が取締役会長に就任し、新しく代表取締役に高橋一徳氏が就任した。

### ▶株光文堂社長に西出達司氏

株式会社光文堂（赤平市錦町2丁目4番地）は、このたび、西出勝利社長が取締役会長に就任し、新しく取締役社長に西出達司氏が就任した。

### ▶富士ゼロックス北海道㈱社長に成島 孝氏

富士ゼロックス北海道株式会社（札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フィルム札幌ビル）は、このたび、山根義明社長が退任し、新しく代表取締役社長に成島 孝氏が就任した。

### 【訂正】

平成30年5月号（第744号）で、予告として平成30年度第1回経営者研修会の講師を株式会社ウエマツ福田浩志社長とお知らせしましたが、都合により講師が変更になりました。

本紙8頁に開催案内を掲載しています。

## 北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>